

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和05年02月02日

計画の名称	朝霞市における下水道整備（第2期）（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	朝霞市													
計画の目標	下水道整備による安心・安全な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		2,396	A	2,396	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初	R7末	R9末
1	内水想定区域図等を策定する。			
	内水想定区域図等の進捗率			
	策定までの検討項目／策定までに実施すべき検討項目　4項目／4項目			
2	下水道による都市浸水対策が必要な区域のうち、概ね1/5確率の降雨に対して下水道整備により内水浸水被害が防止できる割合（都市浸水対策達成率）を0%（R5年度）から0.5%（R9年度）に上昇させる。			
	都市浸水対策達成率			
	都市浸水対策済み面積（ha）／都市浸水対策を実施すべき面積（ha）1.0ha／1.0ha＝100%			
3	下水道による都市浸水対策が必要な区域のうち、概ね1/5確率の降雨に対して下水道整備により内水浸水被害が防止できる割合（都市浸水対策達成率）を0%（R5年度）から0.5%（R9年度）に上昇させる。			
	都市浸水対策達成率			
	都市浸水対策済み面積（ha）／都市浸水対策を実施すべき面積（ha）1.0ha／1.0ha＝100%			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	朝霞市	直接	朝霞市	-	-	内水浸水想定区域図等の 策定	内水想定区域図作成	朝霞市	■	■	■	■	■	100		-
	A07-002	下水道	一般	朝霞市	直接	朝霞市	-	新設	朝霞排水区調整池整備（ 浸水対策）	調整池整備工事 1 箇所 3, 500m3	朝霞市	■					716	1.37	-
	A07-003	下水道	一般	朝霞市	直接	朝霞市	ポンプ 場	新設	朝霞排水区ポンプ場整備 （浸水対策）	ポンプ場整備工事 1 箇所 内径700mm 2 基	朝霞市	■	■	■			1,580	1.37	-
											小計						2,396		
											合計						2,396		

事前評価チェックシート

計画の名称： 朝霞市における下水道整備（第２期）（防災・安全）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I．目標の妥当性 計画の目標が上位計画等と整合している。	○
I．目標の妥当性 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
I．目標の妥当性 関連する他事業の計画と整合性が確保されている。	○
II．計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II．計画の効果・効率性 目標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II．計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II．計画の効果・効率性 指標・数値目標の根拠が整理されている。	○
II．計画の効果・効率性 十分な事業効果が見込まれている。	○
III．計画の実現可能性 全体事業費・要素事業の額が適切である。	○
III．計画の実現可能性 関連する機関との調整が図られている。	○
III．計画の実現可能性 計画の具体性など事業の熟度が高い。	○

